

TNC
通信

2014
1月号



日中新時代の創出を



☆民間交流で友好推進の馬力アップ☆

会員の皆様、明けましておめでとうございます。昨年末に安倍総理の靖国参拝のニュースが飛び込み、本年も日中に限らず近隣諸国との友好と対話の路が冷え込んだ状況が続くようで大変に残念です。さて本年は魯迅の仙台留学 110 周年にあたり、秋には記念の行事も計画されています。「希望正如地上的路」(『呐喊』より) また「旧瓶可以装新酒、新瓶也可以装旧酒」(『准風月談』より) との精神に学び、希望を失わない一人一人の輪を広げていきたいと思ひます。

富谷町は 5 万市制の準備を進めています。ぜひとも教育・文化を中心とした“一衣帯水”隣国・中国との交流が実現できるよう、当会としても尽力していきたいと思ひます。左欄のように 2 月の「新春の集い」からスタートです。本年一年も皆様のご理解とご協力をよろしくお願ひいたします。また 1 月号から体裁を変更させていただきました。(会長 水戸雄二)

〈上半期の主な行事予定〉

- ① **新春の集い** (2月16日14～16時、町上会館)
※ 会費 500 円。ノンアルコールです。留学生も参加予定ですので、ご家族、友人へもお声掛けをお願いします。なおゲーム景品として自宅にある不要の未使用物品をご持参下さい。
- ② **九台市へ植林訪中** (4月20日前後の5日間を検討中)
※ 県協会が長年取り組んできた「吉林省緑化事業」も本年度が最後となり3年目の九台市訪問となります。多くの会員の参加を募集します。
- ③ **第19回定期総会** (6月15日14時、町上会館)
- ④ **ブルーベリー交流会** (7月中旬を予定。詳細は6月号)

午(wu ウマ)年のうんちく

十二支は庶民に分かりやすいように動物を当てます。7 番目の午は、時刻でいうと正午及び前後の 2 時間。方角は南。文字的には、きね(杵)のように上下に交差する様です。そこからさからう、の意もあります。馬を用いた『淮南子』の「人間万事塞翁が馬」や李白の詩に出てくる「馬耳東風」はおなじみ。中国クイズです。人名の読み方で「馬可波羅」? 地名で「馬嵬」? 最後に『書経』の「馬を崑山の陽(みなみ)に帰し、牛を桃林の野に放つ」?

答えは順にマルコポーロ、バカイで楊貴妃の殺された地、“平和の到来”の意味。『三国志』の「泣斬馬謖」ような戦争はノー。

ご案内

- ◎ 「日中友好茶話会—元宵節を祝う会」(2月15日14時から、青葉区中央市民センター2階) 詳細は横山か菊地まで。
- ◎ 「中国残留邦人等への理解を深めるシンポジウム」(2月8日13時から、太白区文化センター) 演劇とパネルディスカッション=岸井成格、柳生聡子。無料。1/2 4 締め切り。詳細は www.zanryuhoin2014.jp

中国の家庭料理を楽しみましょう

〈材料〉
卵 5 個 ネギ 1/2 本
ホウレン草 1・5 束
キクラゲ 5 g
サラダ油 大さじ 3

〈味付け〉
塩 少々
ニンニク 1 片
をすりおろす
ゴマ油 少々

〈卵とホウレン草の炒め 5～6人分〉

- 〈作り方〉 ①卵5個をよくかきまぜ、大さじ2の油で素早く炒め、取り出しておく
②ホウレン草は5cmの長さに切る
③キクラゲは3cm大に切る
④ネギを少量の油で炒め、サラダ油を加え、更に①～③を加え強火で手早く炒める(約3秒)
⑤塩少々、ニンニクで味付け、ゴマ油で味を調える※次回は「ニンニクの茎とエビの炒め」



今月の一冊

「紅の党 完全版」

(朝日新聞中国総局、朝日文庫、735円)

本書は朝日新聞に好評連載された第1部・薄熙来、2部・赤い貴族、3部・指導者たち、で出版され、あらたに4部・エリート、5部・中南海を加え文庫化された。ポスト胡・温体制の権力中枢を担うとされていた薄の登場と失脚そして、中枢指導部の知られざる姿に迫り、革命世代と次世代の共青团系、太子党系の権力抗争に加え、親族の利権、エリートの実情など中国共産党についての普通では知りえない情報を、世界的華人ネット等をめぐらせての取材から、世界第二の大国・中国の今と明日を読み解いていく。

新聞の毎回読み切りBOXだけに、興味深く読み進める。中国で発禁となった連載だが、人民より党優先の現状に記者たちと取材協力者は警鐘を鳴らす。「实事求是」ではないが、客観的に中国を理解し深める事ができる書でもある。(Y)